

## 令和4年度 第3回 大阪市立勝山小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立勝山小学校

校長名 南 明義

日 時		令和5年3月3日（金） 19時00分～20時20分	
場 所		大阪市立勝山小学校	
出席者	委員など	川本 俊永（会長） 北垣 昇（委員） 和田 友祐（委員） 松本 俊美（委員） 岩本 和範（委員）	
	学校	南 明義（校長） 山崎 直美（教頭）	
	区役所	(竹中 担当係長)	
議題		(1) 「学校の現状・学校生活アンケート」について (2) 「大阪市学力校経年調査」の結果について (3) 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について (4) 「運営に関する計画」最終評価について (5) 学校関係者評価について、その他	
協議要旨		協議の結果	意見の概要
(1)		○ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、結果の分析から見えてきた成果と課題について、共通理解を図ることができた。	○ 結果を提示することで、現在の子ども達の体力や運動能力について理解を得た。  ○ どの部分が苦手なのか、よくわかった。課題の部分については、学校の今後の取り組みに期待している。  ○ 休み時間に外で体を動かしたり走ったりする児童が今年度増えたことで、体力アップにつながったという学校からの報告に対して、非常に良いことだとご意見をいただいた。
			○ 学力に関して、一点だけを見て、評価したり色々と言うべきではないとのご意見をいただいた。特に障がいをもった児童やいわゆるグレーゾーンと言われている児童は得意分野を伸ばしていくべき、とのご意見をいただいた。
(2)		○ 「大阪市小学校学力経年調査」について、結果の分析から見えてきた成果と課題について、共通理解を図ることができた。	○ 今年度は「書く」に力をいれ、「視写」を取り入れながら書くことに抵抗を感じない取り組みをしてきたことは、点数に直接結びつかなかったものの、一定の効果は得られたことを伝え、理解を得られた。

(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運営に関する計画」の最終評価について共通理解を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取組の進捗状況の結果と分析の説明を行い、年度目標の達成状況の理解を得た。</li> <li>○ 不登校については、児童や家庭の様々な事情があり、その都度の対応になっている。改善が見られたケースもあるが、児童の特性により改善が難しいケースもあり、その点は理解をいただいた。</li> <li>○ タブレットの活用が進んでいる反面、視力の低下が顕著になり、バランスが難しいとの報告に、スマホに関する話題になる。制限をかける難しさは、保護者も頭の悩ますところであるとのご意見。</li> <li>○ いじめがなくならないことについて、発達障がいの子に対してのいじめは、対応が本当に難しいという話題に。特に、感情のコントロールの難しい児童に対して、周りの不満から攻撃を受けやすくなる、ということについて、周りの理解がいかに大切になってくるかや、アンガーマネジメントの必要性などが挙げられた。</li> </ul>
(4)	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年間の振り返りを写真にまとめた映像を観ていただきながら、子どもたちの成長を見ていただいた。</li> </ul>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運営に関する計画」最終評価</li> <li>○ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」</li> <li>○ 「児童・保護者アンケート」結果</li> <li>○ 「大阪市学力経年調査」結果</li> </ul>	
備考	<p>傍聴者[ 0 ]名</p> <p>初めの15分ほどは、生野区役所から「学校再編」の説明があったので、学校協議会開始が15分後ろ倒しとなった。</p>	